

## 茨城県農林水産部長賞

かりやどおいごちく のうそんほぜんきょうぎかい  
借宿生子地区農村保全協議会（坂東市）

### 豊かな環境（基盤整備） 地域みんなで環境保全を！！

#### 1 活動組織の概要

取組開始年度	平成 27 年度
組織構成	7 集落， 農業者 194 名， 非農業者 160 名， 子供会， 母の会， シニアクラブ ほか
支払区分	農地維持支払， 資源向上支払（共同）
対象農用地	102.58ha（水田 9.98ha， 畑 92.6ha）
対象施設	開水路 1.3km， パイプライン 2.9km， 農道 1.8km
交付金額（H29）	1,731 千円



水路の泥上げ



畦畔の再構築，農地法面の初期補修

#### 2 主な活動内容

準備点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の点検，機能診断（6月，10月）</li> <li>遊休農地発生状況調査（6月，10月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度活動計画の策定（6月）</li> <li>地域住民との意見交換会の開催（1月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地発生防止の保全活動（5月，11月）</li> <li>水路，路肩，法面の草刈り（6月，10月）</li> <li>水路の泥上げ（3月）</li> <li>用水施設の機能診断，保守（6月，10月）</li> <li>景観形成のための植栽（7～11月）</li> <li>農地周辺のごみ拾い，不法投棄防止巡回の実施（5月）</li> </ul>

#### 3 地域の状況と取り組みへのきっかけ

- ・ 本地域は，坂東市の中部に位置する平坦で広大な畑作を主とする農業地域で，畑総維持管理組合を運営していく中で，地域全体での交流が増えてきました。
- ・ 農業者の高齢化や後継者不足により，農地や農業用施設を適正に維持管理することが難しくなってきました。そこで，地域全体での農地の保全が急務となり，これらの問題を解決するため，平成 27 年度に組織を設立し活動を開始しました。

#### 4 特徴的な取組

- ・ 景観形成及び農地法面の保護を目的に、コスモスの植栽を幹線道路沿いに全長 3km で実施し、広報用のぼり旗を設置して、PR 活動を行っています。さらに害虫が農作物等に付着しないなどの効果もあり、防虫作用として農作物等への影響も少なくなっています。
- ・ コスモスの植栽は当協議会や畑総維持管理組合、シニアクラブ等の大勢の方々の協力によって、華やかなコスモス街道を形成しています。地域の交流を深める機会として、地元の保育園児にも参加していただき、コスモス観賞会を行い、楽しいひと時を過ごしました。



農地法面にコスモスの植栽（全長 3km）  
広報用のぼり旗の設置



水路等の草刈り



地元の保育園児との交流



周辺のごみ拾い

#### 5 取組の成果・効果

- ・ 生産性の高い優良農地を維持し、白菜、レタス、ネギなどの高収益作物を安定的に生産する「儲かる農業」を展開しています。
- ・ 地域（7 集落）の枠を越え共同活動を継続して行うことにより、構成員の農地保全に対する意識が向上しました。また、畑地法面へのコスモス植栽、コスモス観賞会による世代間交流を行うことにより、地域の繋がりが強くなりました。
- ・ 首都圏近郊の農村地帯としての立地条件を活かし、今後も環境保全活動を継続し、さらに環境にやさしい農業を目指します。